

雷・突風等に注意

風水害と同じ時期に発生しやすい雷や、竜巻などの突風は、発達した積乱雲に伴って突然発生する激しい気象現象です。気象庁からは「雷注意報」として雷のほか、突風や雹（ひょう）などの発生が予想される場合にも発表されます。

こんな時は発達した積乱雲が近づいています **急な大雨・雷・突風などの危険** に注意！



黒い雲（積乱雲）が近づいてきて、辺りが急に暗くなってくる。



近づいてくる雲の中から、雷の音（ゴロゴロなど）や光が見えたりする。



急にヒヤッとした冷たい風が吹いてくる。



大きなつぶの雨や雹（ひょう）（小さな氷のかたまり）が降りだす。

雷による災害

落雷

周囲が開けた場所などで直接落ちる

側撃雷

木に落ちた雷が枝などをつたって落ちる



雷が落ちやすい危険な場所

- ゴルフ・サッカー・野球などの屋外スポーツ場
- 公園や海・山における屋外観光地など

雷から身を守るには

① 雷鳴が聞こえたらすぐ避難

まだ大丈夫と思わず、外にいる場合はすぐに避難。

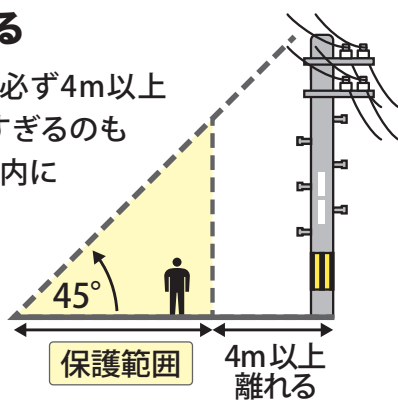
② 頑丈な建物や車の中へ避難

外にいる場合は家の中（鉄筋、鉄骨の建物は安全性が高い）、もしくは車の中に避難。



③ 木や電柱からは離れる

木や電柱が近くにある場合、必ず4m以上離れる。ただし、あまり離れすぎると危険なため、右図の保護範囲内にとどまるように。



④ 何もなければ「雷しゃがみ」

隠れる場所がない場合、右図の姿勢で雷が去るのを待つ。ただし、あくまで最終手段なので、まずは避難を最優先。



突風による災害

屋根などの飛散

電柱・樹木の倒壊

建物の倒壊

飛来物の衝突



突風から身を守るには

① 飛来物に注意して頑丈な建物の中へ避難

車庫・物置・プレハブへの避難は危険。必ず近くの建築された頑丈な建物の中へ避難。



② 建物に入れない場合

水路など、くぼんだ場所に身をふせて、両手で頭や首を守りながら、小さくかがんで危険が去るのを待つ。

③ 屋内でも窓から離れる

窓や雨戸、カーテンを閉め、家の中心部に近い窓のない部屋へ避難。

